

あおがく通信

編集・発行
(学)青池学園 広報室
2017. 12. 1
第24号

第24号のあおがく通信は、「第9回青学祭」特集です。今年のテーマは「日越～日本とベトナムとの架け橋～」。今年度から介護福祉科にベトナム人留学生が入学しています。青学祭を通じて、地域の皆様にもベトナムの文化にふれていただきたい。という思いを込めました。今年も青学祭weekには体育祭も実施され、学科や学年を越えて共に汗を流しました。体育祭と青学祭について各部の部長・副部長に青学祭を終えての感想をインタビューしました。

若狭医療福祉専門学校

青学祭実行委員長
介護福祉科2年 渾大防 真成



感想：私は、短い期間の中で皆と協力して準備を進めることができ、当日は最高の学園祭になったと感じています。普段は他の学科と接する機会が少ないのですが、学園祭を通して交流し仲良くなりました。

実行委員以外の方にも協力を頂き、無事に終わることが出来た事に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

青学祭副実行委員長
理学療法科2年 丸岡 周平(敦賀工業高校出身)



感想：私は青学祭副実行委員長として、企画部員達と打ち合わせを行っていく事が一番大変で苦労しました。今年はベトナムから来ている留学生達とも準備期間中から交流ができて今まで知らなかったベトナム文化を少しだけですが知ることが出来て良かったです。

今回の学園祭を通してベトナム文化を一人でも多くの人に知っていただけたのであれば凄く嬉しく思います。

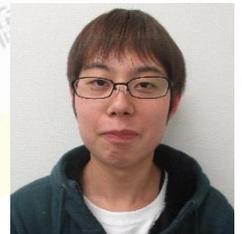
模擬店部部长 医療保育科2年 浅妻 美帆(敦賀気比高校出身)



感想：私は、指示をする立場は初めての経験であり、人を動かす難しさを感じました。しかし、自分自身の成長にも繋がる良い経験になったと思います。模擬店はお金の管理が重要になってくるので運営準備から大変でした。その分、終わってからの達成感はずごくありました。来年は1年生がリーダーです。頑張ってください！

学術部部长 介護福祉科2年 榮 晃矢(啓新高校出身)

感想：私は、みんなをまとめる事が、こんなにも難しい事だとは想像もしていませんでした。短い準備期間とういうこともあり、大変でしたが、学生生活最後の青学祭を通し、仲間と向き合えて楽しい思い出になりました。協力していただいた方には感謝の気持ちでいっぱいです。



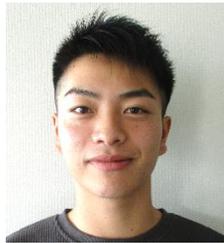
ホール企画部部长 理学療法科2年 畑中 拓磨(東舞鶴高校出身)



感想：ホール企画は、予定通りに行かないことが多くハプニングも多かったですが、何とか無事に終わる事が出来て良かったです。各企画の細かい内容を把握するのが大変でしたが、美浜校と小浜校が一致団結して楽しいものを作り上げたい！という強い思いを感じ、とても感動しました。

体育祭実行委員長

理学療法科2年 岩根 弘人(敦賀気比高校出身)



感想：今年の体育祭は、みんなの意見を反映させた結果、「障害物競走」を取り入れました。準備期間から忙しく大変でしたが、体育祭実行委員を中心にみんなの協力もあり、当日は競技をスムーズに進行することが出来ました。来年は今年以上に楽しいものを作り上げて欲しいと思います。

体育祭副実行委員長

理学療法科2年 中條 寛熙(足羽高校出身)



感想：体育祭副実行委員長になった時は不安でしたが、実行員のみんなと協力して、会議を重ねる事で次第に不安感より期待が大きくなりました。当日は予定通りいかないこともありましたが、参加した学生が楽しそうに競技をしているのを見て、頑張った良かったと感じました。

広報部部長 理学療法科2年 川嶋 壘(美方高校出身)

感想：広報部では、みんなが素早く行動できたお陰で、余裕をもって仕事に取り組むことができました。今回のテーマ「日越」にマッチした、日本とベトナムをアピールするインパクトのある素晴らしいポスターは、評判が良かったと思います。反省点をあげるとすれば、広報部の頑張っている姿を写真に収める事が出来なかった点です。

来年担当する方は、この反省を活かしたくさん写真を撮って下さい。



青池調理師専門学校

カフェ企画部長 専門課程1年 長野 慶司(敦賀気比高校出身)

感想：私は、カフェ企画を通して、予算内の予算調整やメニューの立案の大変さを改めて感じました。みんなが団結して作り上げたカフェが無事成功して良かったです。なによりも食べに来てくれたお客様が喜んでくれたことが一番良かったと思います。今回の経験は就職してからも役立つ良い経験になりました。

来年は今年よりもたくさんのお客様を呼び込めるように頑張りたいです。



学術部責任者 高等課程3年 片野 ゆみか(今津中学校出身)

感想：高等課程は、初めての試みとなるカフェの運営を行いました。メニューの構成・盛り付けから、店内やメンバーの配置など、何度も何度もクラで話し合いをしました。意見がなかなかまとまらないこともあり、うまくできるかどうか、最後まで不安でしたが、無事にやり遂げることができました！！という達成感と安堵感がありました。最後の学園祭、みんなで楽しむことができて良かったです。



学術部責任者 高等課程2年 道野 弘幹(角鹿中学校出身)

感想：今年の模擬店では、出品したキッシュの試作で何度も失敗し大変でしたが、完売出来て嬉しかったです。個人的には仮装コンテストに出場して楽しく会場を盛り上げることができたと思います。

来年はさらにレベルの高いものを提供できるようにしっかり準備をしたいと思います。



学術部責任者 高等課程1年 石川 愛斗(気比中学校出身)

感想：私は、初めての学園祭で学術発表として、模擬店をしました。放課後に何度も試作をして納得ができる商品が仕上がりました。試作をすすめるなかでクラスの絆がより一層深まったと思います。

お客様からの評判もよく頑張った成果が出せてとてもよかったです。



編集後記

本年度は、「日越～日本とベトナムとの架け橋～」をテーマに青学祭を開催いたしました。第10回青学祭(平成30年実施予定)も盛況となるように楽しい企画を準備してたくさんの方々のご参加をお待ちしております。(青学祭 広報部)